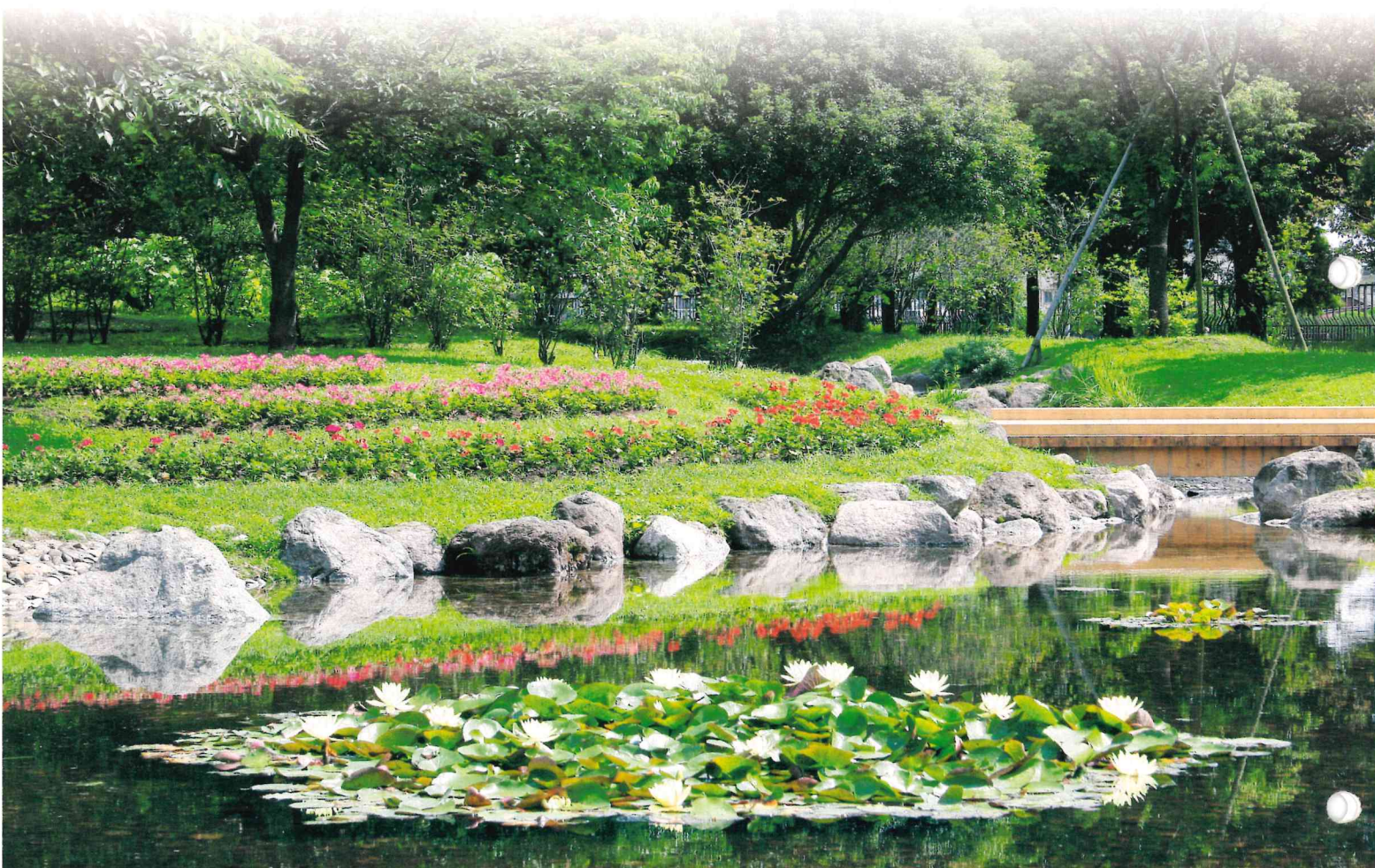


べっぴ

市議会だより

2006.8.1

77



別府公園の池に浮かぶ「すいれん」

主な内容

P2・3

主な議決内容・6月定例会会期の経過

P4

議案質疑

P5

特集記事

P6～11

一般質問

P12

議員の紹介・議員永年表彰 他

青山プール整備工事請負契約の締結など可決

6月定例会は、6月9日(金)から22日(木)までの14日間の日程で開かれました。

一般会計補正予算をはじめ、青山プールの整備工事請負契約や別府市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正など市長提出議案26件の審議が行われ、すべて可決・承認されました。最終日に助役選任についての議案が上程され同意されました。また議員より2件の意見書案が提出され、2件とも原案のとおり可決されました。

主な議決

6月定例会では、補正予算や青山プール整備工事請負契約の締結など26件の議案が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決・承認されました。また最終日に助役の選任についての議案が上程され同意されました。

補正予算

◎平成十八年度一般会計・各特別会計及び水道事業会計補正予算（原案可決）

今回の補正予算は、厳しい財政状況の中、緊急性のあるものを中心に必要最小限の実施事業に絞り込み予算編成しております。

まず、一般会計予算であります。前回補正します額は、一千七百五十万円であります。これを既決予算に加えますと、総額三百

九十四億七千七百五十万円となります。

総務費では、朝日出張所の老朽化が著しいため、隣接する旧別府市農業協同組合本店の一部を借受けし、出張所機能等に移転します。これに伴う所要の経費を計上しております。

教育費では、教育活動活性化の一環として、大分県の補助により「地域人材活用学習力向上支援事業」及び「キャリア教育連携推進事業」の二事業を実施いたします。

また、歴史的価値のある山の手地区の「中山別荘」の復元図面製作設計に伴う経費を計上しております。

◎平成十八年度別府市老人保健及び温泉事業特別会計補正予算（原案可決）

今回補正します額は、八千七百十四万九千円でありまして、これを既決予算に加えますと、総額五百五十六億三千六百二十一万三千円となります。

六月定例会会期の経過

7日	議会運営委員会
9日	本会議（議案上程、提案理由の説明）
12日	本会議（議案質疑・委員会付託）
13日	本会議（一般質問）
14日	本会議（一般質問）
15日	議会運営委員会
15日	本会議（一般質問）
19日	各常任委員会
22日	議会運営委員会
22日	本会議（上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決）

条例の一部改正

◎別府市出張所設置条例の一部改正について（原案可決）

温泉事業特別会計では、本年八月に完成予定の「鉄輪むし湯」を指定管理者制度による運営といたしますので、これに伴う指定管理料を計上しております。

朝日出張所の移転による所在地の変更に伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について（原案可決）

乳幼児の助成の対象となる医療費及び助成の範囲の見直し等に伴い、条例を改正するものです。

なお、この条例に対して修正案が提出されましたが否決されました。

◎ 別府市公設地方卸売市場条例の一部改正について
(原案可決)

生鮮水産物及びその加工品について卸売業者が委託者から収受する委託手数料を改定することに伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

鉄輪むし湯の新築による当該施設の所在地の変更、使用料の改定等に伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

耐用年数を経過し、老朽化した市営住宅を廃止する

ことに伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
(原案可決)

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令(平成十八年政令第六十六号)が施行されたことに伴い、消防団員に係る退職報償金の額の改定を行うため、条例を改正するものです。

その他

◎ 工事請負契約の締結について
(原案可決)

別府市営青山プール整備工事に伴い、工事請負契約を締結するものです。

◎ 工事請負契約の締結について
(原案可決)

別府競輪場バンク改修工事に伴い、工事請負契約を締結するものです。

◎ 指定管理者の指定について
(原案可決)

鉄輪むし湯の管理を指定管理者に行わせようとするものです。

◎ 事務の委託の協議について
(原案可決)

本市と日出町との間で協議により規約を定め、証明

書等の交付等に係る事務を相互に委託するものです。

◎ 大分県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の増減について
(原案可決)

市町村の合併により、大分県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数が増減することについて、議決を求めようとするものです。

意見書

議員より意見書2件が提出され、2件とも可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

- 耐震構造計算書偽装問題の被害者救済を求める意見書

(原案可決)

- 「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

(原案可決)

◎ 市長専決処分について
(承認)

◎ 助役の選任について
(同意)

助役の就任

次の人が、六月二十二日の本会議において、助役に同意されました。

林 慎一(新任)

昭和二十二年二月一日生

(経歴)

平成十四年十月

市長公室長

平成十五年七月

市議会事務局長

平成十七年三月

別府市退職

平成十七年四月

別府市収入役



議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。
6月12日に5名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

朝日出張所について

問

今回、別府市農協本店の移転に伴い、そこに朝日出張所が入所することになったというのですが、出入口はどのように変わるのか説明して下さい。

答

地域住民の利便性や安全性を考慮し、新たに南側にも設置したいと考えています。

問

今回別府市農協本店の建物を借用することに伴う賃貸料等はどのようになっているのか説明して下さい。

答

借用部分は一階・二階で四百六十五・二㎡となっています。また、賃貸料は月額二十六万円であります。

問

この場所は非常に利便性が高いので、高齢者の方からも会議室を利用出来ないのかという強い要望があるのですが、夜間利用も含め

て今後の計画等について説明願いたい。

答

夜間利用については、現時点では管理上の問題があるので昼間の利用をお願いしたい。

中山別荘について

問

今回、中山別荘の図面製作の経費が計上されているが、この内容について説明願います。

答

今年の十月に解体されることに伴い、別府市の貴重な近代化遺産という認識のもと、復元を視野に入れたなかで予算計上をしたものです。

問

近代化遺産・歴史的建造物という観点から中山別荘をどのように把握しているのか説明願います。

答

別府の文化財として十分に価値あるものであり、歴

史的景観に寄与し、近代化遺産として資格を備えているものであります。

問

将来的な復元に向けて、設計図を作成することのようであるが、今後どのように活用するのか説明願います。

答

これまでの調査資料なども含めて別府市全体のまちづくりの中で、近代化遺産や歴史的建造物のもつ重要性を充分加味しながら、今回作成する図面等を十二分に活用していきたい。

中山別荘の紹介

ビーコンタワー近くの歴史的な建物である中山別荘は、もともと富士紡績の「中興の祖」、「元富士紡績社長」（大分県中津市出身）である和田豊治氏が建てた別邸「致楽荘」である（大正9年5月27日に竣工）ことから、別府では旧和田豊治邸とも呼ばれる。

和田豊治はこの別府の別邸以外にも伊豆長岡にも別邸「時来荘」を持っていた。本邸は東京・向島にあった。この和田豊治邸の洋館を設計したのが東京に本拠を置く建築設計施工会社の「あめりか屋」の建築士「山本拙郎」（日本最初の住宅作家と呼ばれる）、工事監督はあめりか屋での山本の後輩「遠藤健三」（元大日本土木会長）、棟梁は渡邊源四郎である。この頃、別府は関西などの財界人を対象とした別荘地の分譲をしていた。この和田豊治邸を譲り受けたのが、九州出身で中山製鋼所を興した中山悦治である。中山は、和風部分は京都の棟梁である平田雅哉に設計・施工を依頼、また庭園の改造のために造園家の椎原兵市（大分市生まれで京都高等工芸に学び宮内省、大阪市などに勤務）に依頼して旧和田豊治邸に手を入れた。これが現在の中山悦治別邸（通称 中山別荘）である。



特集

市議会だより 見やすい紙面づくりをモットーに!

市議会だよりは、市民の皆様へ、議会に対してご理解とご関心を深めていただこうと、議会活動の状況をお知らせしています。
今回は「市議会だより」の編集過程をご紹介します。

議会報・ホームページ運営委員会



委員長	市原隆生
副委員長	嶋幸一
委員	国実久夫
委員	麻生健
委員	野田紀子
委員	清成宣明
議長	永井正
副議長	吉富英三郎

各会派より、議案質疑として掲載すべき項目のアンケート提出



編集方針会議(掲載記事の割付け)



各議員より一般質問の原稿提出



掲載内容・レイアウト等の編集



完



成!!



自治会に配送

市民の皆様のお手元へ

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

6月13日から15日までの3日間、15名の議員が市当局の見解をたしました。

市長退職金引き下げと障がい者福祉

日本共産党

猿渡 久子議員

問

四月に浜田市長は選挙のために退職したが、その際の退職金額はいくらか。

答

在職期間三年で二、三二二万円となっている。

問

四年間では三、〇九六万円となるが、他市に比べても率が高すぎる。全国的にも首長の退職金が高いことが問題になっており、市民生活が大変な中、早急に引き下げをすべき。

答

特別職報酬審議会の開催を検討していきたい。

問

四月一日から障害者自立支援法が施行され、原則一割負担導入で所得が少ない障がい者にとっては死活問題となっている。施設の入所者は負担が重く退所せざるを得ない。収入を上まわる負担を強いられるなど、障害者の自立を阻害するよ

うな実態になっていると聞く。このような実態について市は調査をすべきだ。

答

六月末を目途に施設に対し実態を調査したいと考えている。

問

利用者負担の軽減策を独自に実施している自治体は、五月末で二五二自治体にのぼる。ほとんどの方が三月まで無料だったのに、通所で一万〇三万円の支払いを強いられている。障がい者が人間らしく生きる権利を保障するため、利用者負担の軽減制度を市独自で早急に実施すべき。

答

軽減制度の必要性はあり、前向きに取り組んでいきたい。ただ、その時期は、原則一割負担の影響額や給付サービスの推移をみて、総合的な判断が必要であり、半年かそれ以上の期間をみて判断したい。

学校給食費滞納の現状と今後の対策

自民党新和会

松川 峰生議員

問

学校給食の経費は、学校給食法により、施設設備と職員の人件費は自治体などの設置者の負担で、その他の経費（食材費など）は保護者負担と定めているが、その保護者が負担する給食費の滞納の現状と、年度別滞納額の推移はどうか。

答

平成十八年三月三十一日現在で、別府市の平成十七年度の未収金額は、一、九四五、〇二〇円です。なお年度別の推移は、平成十四年度は一、二一五、〇二〇円、平成十五年度は一、一〇七、九三〇円、平成十六年度は一、二七七、七五四円となっています。

問

児童・生徒数は減少しているのに滞納額は増加しているが、滞納額の学校間格差はあるのか。

答

平成十七年三月三十一日現在では、一ヶ月未納・二ヶ月未納といった違いがありますが、滞納者の多い学校や少ない学校といった格差があります。

問

滞納に対する収納方法についてはどのようにしているのか。

答

滞納の状況・段階などの保護者の状況を勘案しながら、主に校長と学級担任が納入へをお願いをしているところですが、今後は校長・教頭・徴収担当との連携を密にするとともに全教職員で取り組む態勢をつくり、「電話依頼」「文書依頼」「家庭訪問での依頼」をするなど段階的に、ねばり強く納入依頼を続けていきます。

乳幼児医療費について

公明党

市原 隆生議員

問

別府市における乳幼児医療費の助成内容が拡大され



乳幼児医療費に関することは、保健医療課窓口へ

ることだが、いつから
どのように改正されるのか。

答

改正内容は三点あります。

第一に、通院の助成対象年齢の拡大です。現行では0歳から三歳未満児となっていますが、六歳就学前児童まで拡大されます。第二に、入院時の食事療養費を助成対象外として自己負担とすること。第三に、通院・入院時の一部自己負担の導入です。通院の場合、一ヶ月につき一医療機関ごとに、四回を限度として、一日五〇〇円の自己負担（経過措置として平成十九年九月三十日まで、三歳未満児については二回を限度とする）入院の場合は、一ヶ月につ

き一医療機関ごとに十四日を限度として、一日五〇〇円の自己負担を導入する内容になっています。実施時期につきましては、平成十八年十月一日より施行されます。

問

少子化対策の充実のために0歳から三歳未満児の通院・入院時の保護者による一部自己負担について、県内でもいくつかの自治体が行っているようだが、別府市も独自の制度で助成することができないか。

答

合計特殊出生率が一・一九と、全国平均よりもさらに低くなっています。本市の少子化も深刻な状況にあると考えておりますので、この件に関しましては、前向きに検討していきたいと思っています。

勝てば官軍的態度はよくない

日本共産党

平野 文活議員

問
商工会議所の機関決定を

取り消さなければ連携はできないというのは、勝てば官軍という態度であり、他団体への介入ではないか。

答

反対の決定を変えないままでは対話が進まないもので、会議所自らが反対の決定を取り下げていただきたいと思っています。

問

五十万円以上の委託事業は競争入札が原則なのに、数千万円の事業でも長期間にわたって同一業者と随意契約をしている事例がある。総点検して入札にすべきではないか。

答

法律の趣旨を厳正にふまえ、関係課と協議する。

問

市内業者育成のためにも、随意契約ができる少額契約については、「小規模事業者登録制度」を創設し、指名業者以外の零細業者にも直接発注できるようにすべきだ。

答

小規模の工事であっても公共工事ということを考慮すれば、現段階では入札参

加資格登録業者との関係上、「小規模事業者登録制度」の導入は消極的にならざるを得ない。

南部地区活性化について

自民党新和会

萩野 忠好議員

問

浜脇小と南小が統合し、旧南小跡地利用はどのようになっているのか現在の状況を説明して下さい。

答

南部地区の地域特性などを考えた場合、基本的に定住人口の増加、公共施設の建設や複合施設の建設などを内部で検討した。また、南・浜脇の各地区で住民代表説明会を開催し、意見をお聞きしました。今後は旧南小学校跡地活用市民委員会（仮称）を作り地元と協議をしていく。

問

楠港跡地に俵イズミのスーパーが出来ると、中心商店街は人通りも多くなり南部は活性化すると市長選挙で聞いたが、相互の関連性は

どのように考えられているのでしょうか。

答

俵イズミの誘致が決まり、また、中心市街地活性化法の改正等により、法の趣旨に沿った中心市街地の活性化を図られる新たな施策づくりを早急に取組むことが必要であると認識しています。行政内部において「ゆめタウン別府誘致連絡会議」を設置したので、旧南小学校跡地も含めた活性化策を検討すると共に地域住民と一体となって進めていきたい。

問

この計画は早くまとめないと意味をなさない。もう



旧南小学校

すでに南小学校統廃合が決定して5年を経過した。早急に「やる気持ち」が表われないとダメです。何年迄にまとめ何年に完成すると年次を地域住民や市民に提示してほしい。いつ頃最終決定されるのか。

【答】

中心市街地活性化基本計画の見直しを図るべく、組織の立上げが必要と考えていますので、現時点では地元住民と今後十分協議してまいりたい。

介護保険制度について

日本共産党

野田 紀子議員

【問】

介護保険制度の第三期が四月から始まり、説明や保険料の通知が市民に届いているが、お役所用語で内容がわからないとの声がある。わかりやすい表現に変えてはどうか。

【答】

わかりやすいことばで説明するように注意する。保険料通知書は国の規定様式な

ので他都市の状況を見ながら改善できる点があればシステム改修をおこなう。

【問】

保険料軽減の実施はどうするか。

【答】

所得第一、第二段階の生活保護者以外の方は半額。所得第三段階の方は第二段階相当に軽減する。

【問】

保険料設定の所得段階が第六段階は所得二百万円以上で、一千万円所得とも同じ負担だ。六段階を七段階に細分すべきと思うがどうか。

【答】

保険料の見直しは次期介護保険事業計画策定委員会で審議する。

【問】

デイサービス、デイケアの介護保険から外された食費の負担は低所得者にとって重すぎる。市が助成してはどうか。

【答】

食費は個人負担が原則である。

【問】

地域包括支援センターは

日田市、佐伯市、杵築市、臼杵市等では市直営になっている。別府市は地域包括支援センターを民間委託にして、高齢者の生活実態を把握できなくなった。地域包括支援センターを指導する立場から、介護保険課に介護福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの三職種を配置すべき。

【答】

制度改正で種々のサービスがあり、市は指導しなればならないので、課として人員増の協議に入る。

野口・北両小学校の校地選定の是非

自民党市民クラブ

村田 政弘議員

【問】

市役所上の体育館における雨漏りの対応の不手際を追求した。課長の異動にもかかわらず、事務引継ぎがなく、対応の遅れを指摘した。さらに、西校区唯一の公有施設だった温泉プールの跡地に関する再利用計画の立案の遅れを追求。最後に本論の野口・北両小学校の

統合問題を追及した。本年三月の答申では、校区は北校とのことだ。これに対して去る三月議会的一般質問で吉富議員が野口校を残してはどうかとたどした。その理由は①校地は町中にあるべき②国道十号をまたいでいる③高潮等浸水の心配④餅ヶ浜海岸は元々市民広場として活用目的が銘記されている大切な土地である。かかる吉富議員の主張を全面的に支持すると同時に、さらに野口校を校地とすべきであるとの説を、明確に主張した。野口校は昭和三十三年には一七〇人以上の子どもがいた学校、北校は移転前の昭和二十九年に一四〇〇余名だった。これらを考えれば、統合時の生徒数は三五八名の見込みだ。両校共に統合校として合格校と思う。しからば野口校を残してもよいではないか、単純に両校を比較すれば北校がよいのは子どもでもわかる。北校建設の経過、跡地の利用度、別府の将来像等々を考えれば、野口校であるべきだ。ただし改修費が野口校の方が四億円多く

鳴川地区の救急体制とAEDの設置

公明党

堀本 博行議員

【問】

両郡橋鳴川地区で、大分市の行政区域に属する部分は、電話が別府市に組み込まれており、救急車が必要



市役所受付にも常備しているAED装置

などときなど、一一九番通報した場合、大分市消防局の救急車が出動してくることとなり、かなりの時間を要すが、別府市消防本部の救急車であれば、相当の時間短縮が図られることとなる。今後は別府市消防本部で対応することは可能か。

答

ご指摘のとおり、鳴川を挟んで南側は大分市、北側が別府市の行政区域となっています。別府市行政区域内での管轄は別府市消防署浜町出張所となっています。大分の行政区域内においても、別府市消防本部でカバーすることは可能かどうかとのご質問ですが、大分市側及び別府市側で同時救急事案発生等の場合を考慮したうえで、大分市消防局と協議し検討したい。また、県下の消防長会にも問題提起したい。

問

バレーボールが胸に直撃し、脳しんとうならず心臓しんとうにかかったと聞いたことがある。AEDを、特に小・中学校に設置し、同時に講習を実施する必要

があると考えている。今後の対策・計画はどうなっているのか。

答

別府市消防本部としましては、AEDの設置やその講習を主要な事業のひとつとして位置づけ、普及・整備に努めています。今後とも不特定多数の市民が集まる公共施設への設置に向けて、関係課と協議していきたいと考えています。また、小・中学校への設置については教育委員会と協議したいと考えています。

まちづくり・がんセンター推進について

公明党

原 克実議員

問

今回改正まちづくり三法が成立。新たな自治体の方針が問われてくる。別府市としての総合的なまちづくりのプロジェクトチームを立ち上げビジョンを示す必要性に対する考えは。

答

中心市街地活性化法の改正が八月末に施行される。

また、四年後には別府市総合計画の改正に向け、別府市のまちづくりの施策の見直しを図るべき時期に至ったと考えています。今、新たなプロジェクトチームの設置も含め内部検討している状況です。

（市長答弁）別府の経済再生、観光再生のため行政と経済界が一体となり、全力投球で新たなまちづくりに取り組んでいきたい。

問

がん対策基本法が成立。国は国家戦略として打ち出す。がん治療水準には地域間の格差もあり、がんは国民の健康にとつて大きな脅威となっている。市長は今回の選挙で国立がんセンターを別府市に誘致する政策を打ち出されたが市長の考えを問う。

答

がん対策基本法は、地域にかかわらず等しく適切ながん治療が受けられるよう医療機関を整備していくこと等が主な内容と認識している。大分県はがんの死亡率は全国で十一番目に高く、県内のがんによる死亡率も

一位と憂慮すべき状況となっている。別府市は日本一の温泉都市であり、がんの治療研究に「温泉と医療そして保養」を結びつける医療機関の誘致に名乗りをあげることが重要な政策課題と考え、しかるべき時期をまつて、関係機関と連携を図りながら誘致に向けて取り組みたい。

市教委の教育観と今後の対応を問う

自民党高志会

野口 哲男議員

問

日本中が悲惨な事件の連続で、社会全般にわたるモラルや規範意識の低下、家庭地域社会の低下、地域社会の教育力の低下等から、家庭崩壊、少年犯罪の多発・凶悪化、エリート官僚の腐敗等、大変な事件が相次いでいる。戦後六十年教育のあり方が大いに影響していると言わざるを得ない。家庭教育、地域教育、学校教育に対し専門家として市教委の見解と取り組み及び対応について問う。

答

家庭・地域社会において、子どもの心身の健全な成長を促す教育力が発揮されず、人との交流や活動経験等を通じて豊かな人間関係を築くことが難しくなっており、このことが、昨今の青少年の社会的モラルの低下や規範意識の欠如に影響している。学力の向上はもちろんであるが、知・徳・体調和のとれた学校づくりを進めたい。自他の生命を尊重し、健全な自尊心や、人間関係を築く力を高める道徳授業に重きを置き、家庭・地域教育の重要性からさらなる連携を強化するとともに、教師の指導力の向上を大きな課題として授業の充実を図りたい。またグローバル化が進展する中で、自らの国や地域の伝統文化について理解を深め尊重し、郷土や国を愛する心を育むことは、日本人として国際社会を生き抜く上で極めて重要なことと考えており、心の教育の充実と倫理観の確立とものづくりの継承等、子どもの発見力・達成能力を養い、感動する心等の感

性を磨く上での大切な教育と受けとめ、学校教育活動の中でさらに充実するよう指導・助言して参りたい。

中心市街地活性化の具体策について

市民の声クラブ

池田 康雄議員

問 浜田市長は市民の目線を大事にしたいということで楠港跡地への企業誘致の問題に於ても議会への提案という形式にこだわり、市民が賛否で二分されるや白紙撤回に動き、なぜかそれが



活性化が期待される中心市街地

叶わなければ凍結する判断を下した。この間のプロセスに幾つかの問題があるにしろこの時点までの行動は理解できる。しかし、凍結解除から三月議会を経て、住民投票がなじまないことを理由に回避して市長を辞職するや再び立候補して市長選を行った。そして再選されるや議会への提案をせずに市長の権限という形で株イズミ誘致に動き始めた。市長の権限で物事を決する行為は市民の目線とは正反對の行政行為で、なぜこのような行政の進め方を選択するのか理解に苦しむが、要は市長の権限で誘致することは決定できても市街地の活性化や別府市の商業の活性化は市長の権限を振り回しても解決しないということである。ましてや株イズミの誘致によって商業の活性化を図ると主張する執行部であれば早急に活性化の具体的施策の検討に入らなければならぬ。一方で株イズミ誘致による収入をもつて活性化を促すとも言っている訳で、その資金の具体的使い道を提案する義務

を負ったことも忘れないで欲しい。私は株イズミによって市街地が活性化するとは思わないし、交通渋滞が市民や観光客の皆さんに悪影響を及ぼすことを指摘してきた。貴重な私有地を市長の権限で処理したその後を注意深く見守りたい。

市長の退職金について

行財政改革クラブ

泉 武弘議員

問 市長、助役、収入役の4年間の退職金は各々いくらか。

答 市長は三、〇九六万円、助役は一、四六八万円、収入役は九七一万円となっている。

問 市長の退職金を人口十万人から十三万人の類似団体四十一の「市」をみると、最少額は大阪府箕面市で九二二万円となっており、最高額は別府市で唯一「三、〇〇〇万円台」となっている。また、県下十四市の中でも、

大分市と並んで三、〇〇〇万円台となっているが、大分市は人口四十六万人で、別府の約四倍で比較することができない。この退職金額について、市民の理解を得ることは、きわめて難しいと考える。幸いに市長は「市民の目線に沿って政治を進めたい」と公約しているが、市長自身の判断で退職金については見直すことができるが、この際市民の目線に沿って退職金の見直しをする気はないか。

答 特別報酬審査議会に諮問したい。

問 諮問するまでもなく、市長自身の判断で減額できるのに、自身で決断しないことに落胆した。

朝日出張所移転及び鉄輪の町づくり

公明党

岩男 三男議員

問 議員に選出されて以来朝日出張所の整備を要望してきた。今春別府市農協本店

が移転し、市の朝日出張所の入居が決まり、要望通り南側を玄関にしていたき感謝しています。二階の会議室も市民が利用できる様に決定していただいた。この会議室は夜間及び日祭日も利用出来る様に努力してほしい。旧出張所は解体して駐車場とし、現出張所の南側の市道は幅が狭く渋滞の原因となっている。出張所用地を利用して市道の幅を強く要望する。

答 別府市農協本店二階会議室の夜間・日祭日の利用は、管理上の問題があり、出張所開庁時間内の利用に限られますが、今後管理上の問題がクリアできるかどうか内部で検討する。現出張所の解体は、九月議会で予算を計上予定している。市道の拡幅は、水路等があり更に調査し要望に応えたい。

問 鉄輪の町づくりについては、地元住民の要望を受け私も議会ですべて取り上げてきた。幸いにして公明党の主張が連立与党で受け入れられ「町づくり交付金



移転後の朝日出張所南側出入口

制度」が発足。この交付金を活用し事業が進展。昨年は北側国土交通大臣も視察に訪れ、全国のモデルにと、注目を集める所となっている。みゆき坂の石畳は完成し喜ばれている。今後の予定は。

答 いでゆ坂を中心に石畳舗装を整備、狭い通りと合わせ二千三百メートルへ、元湯の跡地にポケットパークを設置、日本家屋風のむし湯の新築、大谷公園も利用しやすい公園に整備をし、湯治場としての雰囲気を高めていく。総事業費八億七千万円で平成二十一年の完成を目指している。

近代化遺産・中山別荘の復元を

社民クラブ

高橋美智子議員

問

中山別荘の復元設計図について、今後のスケジュールを問う。

答

復元図面製作は、平成十九年一月末完成の予定。今後の工程については、七月中には設計委託の入札を行い八月には現地調査に入りたい。十月には建物を解体する予定で、九月までに現地調査と必要な部材を撤去し、その後調査のまとめと図面作成をする。調度品のステンドグラスやシャンデリアなどは、解体までに撤去し市美術館に保管・展示したい。

問

中山別荘に思いを寄せる市民に中山別荘を見せることはできないか。

答

一般公開については所有者の意向もありますので、了解を得て建物解体前に日時を設定し一般公開してい

ただけるよう配慮したい。

問

将来的に復元を視野に入れたまちづくりを今後進めていくために、プロジェクトチームなどの設置と、新基金の創設（ふるさとチャレンジ基金・株イズミとの賃貸料の一部充当など）と、基金条例の制定に早急に取り組んでほしい。

答

プロジェクトチームが良いか、検討委員会が良いのか、今後まちづくり関係者を入れ行政の関係課と設置に向け協議をしていく。新基金の創設については、早急に関係課での協議・検討を進め議会に提案したい。「ふるさとチャレンジ基金」や「観光施設整備基金」の見直し、積立の予算措置の考え方を整備していく。教育委員会としてもしっかりと取り組むたい。

温泉科学博物館の建設について

社民クラブ

田中 祐二議員

問

市長は今回の選挙公約で、「温泉科学博物館」の建設について具体化するとやっているが、今後の見通しについてお聞きしたい。

答

構想実現に向けての課題としては①博物館構想のコンセプト②建設予定候補地の選定③施設規模及び建設費用④国の補助制度の活用⑤展示内容⑥集客力及び収益性⑦予想される問題点等を検討している段階です。特に、補助制度として施設規模、施設の名称等によっては所管課の調整が必要となりますので、今後庁内の検討委員会を立ち上げ、調査、研究をしてまいりたいと考えています。

問

大災害発生時に道路の狭隘、交通渋滞、また家屋・塀や石垣の倒壊で、消防車等の通行に障害が発生した場合を想定した消防活動体制のために、赤バイ隊が発足されているが、発足についてどう考えているか。

答

初期消火、交通渋滞によ

る救急車の通行障害時における救急救命等、救急隊員の現場への先行等、かなりの重要性が見込まれます。積載する物品、配置人員、隊員の要請等の諸問題等を検討いたします。

問

大災害発生時において、ライフラインの破壊、または通信回線の不通等が考えられる。このような場合、タクシーより情報提供を受けられるよう協定を結んではいかがと思うが。

答

タクシー業界との応援協定も有効な情報収集が可能である。関係各課とも十分協議し、検討します。



全国市議会議長会 より永年功労表彰

去る五月二十四日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により、本市議会から、山本一成議員が、議員在職十五年以上の永年勤続として表彰されました。

六月定例会の初日に、本会議場で議長から表彰状の伝達式が行われ、別府市より、記念品が贈呈されました。



新議員となりました

公職選挙法第百十三条に基づく補欠選挙により、五月二十二日付で二名が新議員に当選いたしました。

樋口 太 議員



(当選回数一回)

会派名 自民党新和会
委員会 建設水道委員会

河野数則 議員



(当選回数六回)

会派名 自民党高志会
委員会 総務文教委員会

人 事

次の議員が、農業委員会委員に選任されました。

清 成 宣 明 議員
岩 男 三 男 議員

べっぴ

子ども市議会

第四回「べっぴ子ども市議会」を、
八月一日(火)に開催予定です。

傍聴のご案内

- ◆本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆お気軽に議会棟4階へお越し下さい。
- ◆傍聴席は80席あり、車椅子席も7台分用意されています。
- ◆次の定例会は、9月上旬に予定しています。

虚礼廃止に ご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っております。

別府市議会ではこの一環として、平成五年より、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りするにしています。

政治家が、暑中見舞い状を出すことやお中元などを贈ったり、お祭りへの寄附をすることは、法律で禁止されています。

また、有権者の皆様も、政治家に勧誘・要求することとも法律で禁止されています。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

